



研究活動一覧

「研究活動一覧」は、当所研究員の研究活動と研究内容や関心分野を、読者の皆様にタイムリーに提供することを目的としています。研究内容の詳細につきましては、直接担当研究員までお問い合わせ下さい。

【研究論文および雑誌記事等】

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
相川良彦	花と人間	グリーン情報	2006. 9
OKAE Takashi	Chuc nang tin dung cua cac xom o lang Bach Coc (バックコック村における集落の信用機能について)	『百穀社通信』 2006 年特集号	2006. 7
金子いづみ	集落営農の労働力構成	日本の農業あすへの歩み（農政調査委員会） 第 238 集	2006. 3
金子いづみ	多様な集落営農の展開——水田単作安定兼業地帯（北陸）——	農業と経済 Vol.72, No.12	2006.10
河原昌一郎	「民国期中国農村信用社の兼営化に関する一考察」	農業経済研究 78・1	2006. 7
河原昌一郎	「中国郷鎮企業の株式合作制に関する制度的考察」	農林水産政策研究 第 11 号	2006. 7
河原昌一郎	「中国の遺伝子組換え農産物の動向」	農林経済 9807 号	2006. 9
河原昌一郎	「中国郷鎮企業改革の動向」	Techno Innovation 16・4	2006. 9
小泉達治	「米国における燃料用エタノール政策の動向——とうもろこし需給に与える影響——」	農林水産政策研究 第 11 号	2006. 7
小泉達治, 柴田明夫	「バイオエネルギーが穀物市場を変える」	穀物（商品市況研究所） 143	2006. 8
小泉達治	「米国におけるバイオエタノール政策・需給動向」	砂糖類情報（農畜産業振興機構） 120	2006. 9
小泉達治	「ブラジルのバイオエタノール・砂糖政策の動向分析」	平成 17 年度農林水産政策研究所成果情報 5	2006. 9
小林茂典	野菜の用途別需要の動向と国内産地の対応課題	農林水産政策研究 第 11 号	2006. 7
Takeshi Sakurai	Rainfall as an Idiosyncratic Shock: Evidence from West Africa Semi-Arid Tropics	Supporting Farmer Decisions in Response to Climatic Risk（国際農林水産業研究センター）working Report No. 49	2006. 3

研究員名	表 題	発表誌、巻・号	発表年月
櫻井武司	戦争と土壌劣化——西アフリカ、サヘル地域における実証	環境情報科学 35 巻 2 号	2006. 9
鈴木宣弘・木下順子・渡辺靖仁	日本人の牛乳消費は飽和したか	独立行政法人農畜産業振興機構『平成 17 年度畜産物需給関係学術研究情報収集推進事業報告書』	2006. 7
Tomiko Yamaguchi, Fumiaki Suda	Justification, Compromise and Boundary Objects: GMO Disputes in Japan	International Sociological Association World Congress of Sociology, Durban, South Africa, July, 2006	2006. 7
須田文明	「コンヴェンション理論」	『進化経済学会ハンドブック』、共立出版	2006. 9
橋詰 登	農業集落による地域資源管理の現状と動向——農村集落調査が明らかにした農業集落の機能と役割——	農業と経済 72 巻 8 号	2006. 7
橋詰 登	1990-2000 年における農業集落の構造動態——世帯構成、集落機能、資源管理活動の変化を中心に——	農林水産政策研究所レビュー No.20	2006. 7
橋詰 登	農業集落の変容が農村地域社会に及ぼす影響——1990-2000 年農業集落調査の構造動態分析——	行政対応特別研究〔農村集落〕研究資料 第 1 号	2006. 7
樋口倫生	韓国経済における農業部門の位置づけ	『韓国経済研究』 Vol. 6	2006. 8
福田竜一	G 経営体と G 農協	総研レポート「農業経営の環境変化と農協金融の対応に関する調査」 18 調 NO.8	2006. 8
福田竜一	先進諸国の農産物輸出国家貿易企業の現状と論点	行政対応特別研究〔交渉戦略〕研究資料 第 1 号	2006. 8
福田竜一	農産物輸入関税割当制度改革の効果と影響——アメリカの牛肉輸入関税割当制度での試算——	農業経営研究 第 44 巻第 2 号	2006. 9
吉井邦恒	欧米における農業経営安定対策の動向——アメリカ次期農業法案を中心に——	第 42 回東北農業経済学会福島大会	2006. 9
吉井邦恒	品目横断的経営安定対策の効果について	第 42 回東北農業経済学会福島大会	2006. 9
吉井邦恒	日本における新たな品目横断的経営安定対策の導入と研究課題	北東アジア農政研究フォーラム第 4 回国際シンポジウム	2006. 9
Kunihisa Yoshii	An Preliminary Study on the New Core Farmer's Management Stabilization Scheme	北東アジア農政研究フォーラム第 4 回国際シンポジウム	2006. 9
吉井邦恒・Trung・大山達雄	わが国の食料自給率向上戦略作成のための食料供給ネットワークモデル分析	日本オペレーションズ・リサーチ学会平成 18 年秋季研究発表会	2006. 9

【口頭発表および講演】

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
會田陽久	有機農産物の購入変化と消費者の属性分析	日本農業市場学会 2006 年度大会（日本農業市場学会）	2006. 7. 2

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
阿部 覚・竹ノ内徳 人	「ぎょしょく教育」の実践と課題——愛媛県 における魚の食育——	特別研究会「魚の食育」と国内水産物 の食料供給システムに関する研究会 (農林水産政策研究所)	2006. 9.21
大橋めぐみ	グリーンツーリズムと地域振興	平成 18 年度専門能力強化研修（農林 水産生活技術研修館）	2006. 9.27
岡江恭史	ベトナムの村落と農家経済	第 2022 回定例研究会（農林水産政策 研究所）	2006. 8. 1
小泉達治	「バイオエタノール政策導入の背景と 国際的展開について」	総合食料局食料安全保障に関する勉強 会（総合食料局食料企画課）	2006. 8. 3
小泉達治	「米国における燃料用エタノール政策の展開 と課題——とうもろこし需給に与える影響」	総合食料局食料安全保障に関する勉強 会（総合食料局食料企画課）	2006. 8. 3
田中 樹・真常仁志・ 内田 諭・平野 聡・ 櫻井武司	サヘル地域の農民の外部性ショックへの対処 行動にみる土壌への働きかけ	日本土壌肥料学会 2006 年度年次大会 (日本土壌肥料学会)	2006. 9. 5 ～ 9
Takeshi Sakurai・ Jun Furuya・Koichi Futakuchi	Rice Miller Cluster in Ghana and Its Effects on Efficiency and Quality Improvement	26th Conference of the International Associa- tion of Agricultural Economists(International Association of Agricultural Economists)	2006. 8.12 ～ 18
Kei Kajisa・K. Palanisami・Takeshi Sakurai	The Dissemination of Private Wells and Double Tragedies: the Overexploitation of Groundwater among Well Users and Increased Poverty among Non-Well Users in Tamil Nadu, India	26th Conference of the International Associa- tion of Agricultural Economists(International Association of Agricultural Economists)	2006. 8.12 ～ 18
Takeshi Sakurai・ K i m s e y i n g a Savado	War-Induced Transient Poverty and Environmental Degradation: Evidence from Burkina Faso, West Africa	3rd World Congress of Environmental and Resource Economists (SEEPS, AERE, EAERE, and ALEAR)	2006. 7. 3 ～ 7
櫻井武司・夏原和美	インドにおける森林の多面的機能の実証	環境経済・政策学会 2006 年大会（環 境経済・政策学会）	2006. 7. 3 ～ 7
高橋克也・竹西亜古	「フードシステムにおける安全性の心理評価 と構造——共分散構造分析による——」	第 328 回関西社会心理研究会個別報告	2006. 7.15
高橋克也	「フードシステムにおける情報伝達構造—— ノンパラメトリック検定による——」	第 328 回関西社会心理研究会個別報告	2006. 7.15
Katsuya Takahashi	“The Changing Consumer and Food System in Japan——Current situation, Food safety, Marketing strategy——”	2006 FFTC-NACF International Seminar on Agricultural Cooperatives in Asia: Innova- tions and Opportunities in the 21st Century	2006. 9.11 ～ 14
高橋祐一郎	食の安全・安心からみた“まぐろ”	平成 18 年度産業技術、情報技術等に関する指導者の 要請を目的とした研修「まぐろ漁業を取り巻く状況 に関する講義と実習」(全国水産高等学校校長協会)	2006. 8.22
Masashi Tachikawa	Policy Style and Civil Society —— A Case Study of GMOs in the US and the EU——	Rural Sociological Society, Louisville, Kentucky, USA	2006. 8.13
橋詰 登	農業・農村活性化の統計分析 ——小地域別統計を用いたマクロ分析——	平成 18 年度農林水産統計専門職員研 修（大臣官房統計部）	2006. 9. 5
橋詰 登	農業集落の構造動態分析——1990-2000 年農 業集落調査個票のリンケージ——	平成 18 年度農林水産統計専門職員研 修（大臣官房統計部）	2006. 9. 5
林 岳 山本充, 高橋義文	環境改善ポテンシャル指標による農林業が持 つ環境改善能力の評価	環境経済・政策学会 2006 年大会	2006. 7. 7
Takashi Hayashi, Yoshifumi Takahashi and Mitsu Yamamoto	Developing an indicator for environment improvement potential in the agricultural sector	26th Confrence of the International Association of Agricultural Economists	2006. 8.15

講演者	演 題	講演会名	発表年月日
福田竜一	Analysis of Free Trade Agreement by Cooperative Game Theory -A Case Study of The US and Australia Free Trade Agreement	第4回北東アジア農政研究フォーラム 国際シンポジウム（韓国農村経済研究院）	2006. 9. 5
増田敏明	E T A / E P A についての農林水産分野における取り組み	食料・農業協力講演会（国際農林業協力・交流協会、国際食糧農業協会の共催）	2006. 7.19
松原 明紀	日本の農業政策の長期的展望	大韓民国忠北大学校農業生命環境大学 開学 55 周年記念シンポジウム	2006. 9.20
山下憲博	最近の中国の農業政策とトウモロコシの需給動向	飼料関係懇話会（配合飼料供給機構）	2006. 7.21
山下憲博	日中農業保険の相違点	日中農業保険セミナー（於北京、中国農業科学院農業経済発展研究所日中農業経済研究センター）	2006.10.11
吉田泰治	原油価格高騰が日本の農漁業・食品産業へ与える影響の評価	第4回北東アジア農政研究フォーラム	2006. 9. 5